

技術サービスで顧客の技術者不足を補完 独自方策で受注活動と人材育成を効率化

自社の事業を技術者不足を解決する「開発設計促進業」と定義し、保有する幅広いエレクトロニクス技術を組み合わせ、複合的で難度の高い技術課題を提案型で解決に導く総合技術サービスを提供している。また、開発部門と技術教育部門を保有し、技術基盤の継続的な強化と向上によって高い顧客満足を獲得。2018年度からはIoT分野未経験企業への技術導入コンサルティングと技術者教育サービスに提供サービス範囲を広げ、日本の競争力強化と技術者不足解消への更なる貢献を目指している。

- 所在地 兵庫県川西市久代3丁目13番21号
- 電話/FAX 072-758-5811/072-758-5593
- URL <https://www.wti.jp>
- 代表者 代表取締役社長 石川 高英

- 設立 1984年
- 資本金 5,000万円
- 従業員数 218人



生産性向上

3種類の技術サービスで顧客の技術者不足を解決する

「社内請負型設計」、「駐在型設計」、「技術コンサル・技術者教育」の3種類の自社提供サービスに加え、広範な保有技術に裏打ちされた独自提案力で、顧客の開発設計の促進に貢献している。深刻さを増す技術者不足の中で、顧客は自社の技術者を増員することなく開発設計を促進できる。同社は、3つのサービス形態のバランスで売上と収益の双方を高め、継続的に成長していけるビジネスモデルを作り上げている。

Webサイトの充実とメールの活用で営業活動を効率化

Webサイトの充実やダイレクトメールを積極的に取入れ、「広告しない」、「売り込みをしない」営業を推進。営業活動を効率化し、営業リソース不足を補うツールとして活用。訪問せずとも商談化に繋げる仕組みを構築することで効率的に受注を獲得し、大きな成果を上げている。自社Webサイトの充実により、サイトへの来訪者数は約6倍に増加。受注数も15倍以上の実績を上げている。ダイレクトメールでは自社保有技術を顧客目線のお役立ち情報としてまとめ、定期的に見込み顧客に送付。商談で成果を上げている。

充実した教育システムで多様な人材採用と社員の多能化を実現

多様な人材採用を積極的に推進。非電気・電子系学生や転職者であっても、充実した教育システムにより不足技術を習得。実践力を身に付けることで多能化を実現している。「マルチ化」と呼ばれる多能化育成施策を継続することで、技術者の守備範囲を拡大し、異なる技術分野への能動的な配置と人材活用に成功。全技術者の保有技術を網羅した技術マップを作り、適材適所の人材活用や個々の技術習得の支援に活用している。これらの取組みにより、採用難の状況下でも安定した人材獲得と育成ができています。



顧客目線のダイレクトメールで受注効率化



独自の教育システムで多様な人材を活用

サービス